

学 則

株式会社リビングプラットフォーム

令和5年8月1日

1. 養成施設

1 設置者	株式会社リビングプラットフォーム 北海道札幌市中央区南2条西20丁目291番地 代表取締役 金子 洋文 電話:042-777-6518 FAX:042-711-9929	
2 設置の目的	将来、介護福祉士となり介護業務の中核を担う質の良い人材を育成し、地域社会の利益に貢献する。	
3 研修の名称	LPFケアカレッジ介護福祉士実務者研修(通信コース)	
4 通信添削 運営主体	LPFケアカレッジ 〒252-0234 神奈川県相模原市中央区共和4-13-1	
5 実施施設 (スーリング、面接授業、医療的ケア演習)	①LPFケアカレッジ 〒252-0234 神奈川県相模原市中央区共和4-13-1 ②LPFケアカレッジ札幌(面接授業) 〒062-0054 北海道札幌市豊平区月寒東4条15丁目4-38 シルバーハイツ羊ヶ丘3番館 ③LPFケアカレッジ札幌2F(医療的ケア) 〒062-0054 北海道札幌市豊平区月寒東4条15丁目4-38 シルバーハイツ羊ヶ丘3番館 ④LPFケアカレッジ仙台 〒983-0005 宮城県仙台市宮城野区福室7-6-20 フループライフガーデン	
6 開講期間	第1期	4月1日～9月30日(無資格者・有資格者対象)
	第2期	7月1日～12月31日(無資格者・有資格者対象)
	第3期	8月1日～11月30日(有資格者のみ対象)
	第4期	9月1日～12月31日(有資格者のみ対象)
7 修業年限	6ヶ月(所有資格によって変動あり)	
8 生徒定員、学級数	1学級18名定員 最低開講人数は1学級6名とし、開講1週間前までに6名以上の受講希望者がいない場合は、開講しない場合がある。	
9 受講資格	*介護福祉士資格を所持していないもの。 ただし、科目の免除を希望している者については、入所の前日までに免除該当の資格の修了証が交付されていること。 (未修了者は申込書に「修了見込証明書」を提出のこと) *通信養成の実施地域は全国とし、受講対象者は面接授業に通学可能な範囲に居住する者とする。	
10 受講手続	①受講希望者は当社HP、電話等にてコース案内資料を取り寄せる ②申込書に必要事項を記入し申込み(要 資格証コピーの提出) ③当社より学則、受講料振込案内等を発送 ④学則に同意の上で、受講料を振込み ⑤入金を確認できた方より、受講確定とする(先着順、選考無し) ⑥受講定員を超えた申込みがあった場合は、次の開講案内をする	
11 受講申込時期	原則、開講の1週間前まで(ただし定員に空きがある場合に限る)	
12 一般 受講料 (税別・諸経費等込み)	450時間コース(無資格、介護に関する入門的研修、訪問介護員3級生活援助従事者研修修了資格保持者)	110,000円
	320時間コース(訪問介護員2級、初任者研修修了資格保持者)	80,000円
	95時間コース(訪問介護員1級資格保持者)	50,000円
	50時間コース(介護職員基礎研修修了者)	30,000円
13 科目履修日(税別・諸経費等込み) *修業年限6ヶ月を過ぎて未修了科目がある方が、次学級等で科目単位の再履修をする場合は無料だが、無料の再履修は1回までとし、再々履修はこの科目履修費が発生する。	介護過程Ⅲ	50,000円
	医療的ケア(演習含む)	30,000円
	その他の科目(通信1科目につき)	5,000円
14 カリキュラム・日程・担当講師	別紙カリキュラムのとおり	
15 使用教材	「介護福祉士実務者研修テキスト」全5巻 (発行:中央法規出版株式会社) ※ コースによって巻数が減る場合があります e-ラーニングシステム「e-CHJ」(中央法規出版株式会社)	

16 免除科目	① 無資格者、介護に関する入門的研修、訪問介護員3級、生活援助従事者研修資格保持者 免除無し	
	② 訪問介護員1級資格保持者：免除355時間	
	人間の尊厳と自立 社会の理解Ⅰ 社会の理解Ⅱ 介護の基本Ⅰ 介護の基本Ⅱ コミュニケーション技術 生活支援技術Ⅰ 生活支援技術Ⅱ 介護過程Ⅰ 介護過程Ⅱ 発達と老化の理解Ⅰ 発達と老化の理解Ⅱ 認知症の理解Ⅰ 認知症の理解Ⅱ 障害の理解Ⅰ 障害の理解Ⅱ こころとからだのしくみⅠ こころとからだのしくみⅡ	5時間 5時間 30時間 10時間 20時間 20時間 20時間 30時間 20時間 25時間 10時間 20時間 10時間 20時間 10時間 20時間 20時間 20時間 60時間
	③ 初任者研修修了資格保持者：免除130時間	
	人間の尊厳と自立 社会の理解Ⅰ 介護の基本Ⅰ 生活支援技術Ⅰ 生活支援技術Ⅱ 認知症の理解Ⅰ 障害の理解Ⅰ 介護過程Ⅰ こころとからだのしくみⅠ	5時間 5時間 10時間 20時間 30時間 10時間 10時間 20時間 20時間
④ 訪問介護員2級資格保持者：免除130時間		
	人間の尊厳と自立 社会の理解Ⅰ 介護の基本Ⅰ 介護の基本Ⅱ 生活支援技術Ⅰ 生活支援技術Ⅱ 介護過程Ⅰ こころとからだのしくみⅠ	5時間 5時間 10時間 20時間 20時間 30時間 20時間 20時間
	⑤ 介護職員基礎研修修了者：免除400時間	
	人間の尊厳と自立 社会の理解Ⅰ 社会の理解Ⅱ 介護の基本Ⅰ 介護の基本Ⅱ コミュニケーション技術 生活支援技術Ⅰ 生活支援技術Ⅱ 介護過程Ⅰ 介護過程Ⅱ 介護過程Ⅲ 発達と老化の理解Ⅰ 発達と老化の理解Ⅱ 認知症の理解Ⅰ 認知症の理解Ⅱ 障害の理解Ⅰ 障害の理解Ⅱ こころとからだのしくみⅠ こころとからだのしくみⅡ	5時間 5時間 30時間 10時間 20時間 20時間 20時間 30時間 20時間 25時間 45時間 10時間 20時間 10時間 20時間 10時間 20時間 20時間 20時間 60時間
17 その他の免除科目	前ページの免除に加え「喀痰吸引等研修」を修了している方については、医療的ケア（演習含む）を免除する。 その場合、医療的ケアの科目履修分（¥30,000）を受講料から差し引く。	

18 履修方法	<p>①【通信課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 受講生はカリキュラムに定めた課題提出期限までに課題を提出する。 * 受講生は課題の進捗を確認しながら、計画的に課題に取り組むこと。 <p>②【通学授業】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 「介護過程Ⅲ」、「医療的ケア演習」については、通学授業とする。有意義な研修とするために、通学授業前までに、あらかじめ定められた自宅学習課題に取り組むこと。
19 学務規定	<ul style="list-style-type: none"> * 受講生は授業(スクリング)開始の5分前には着席すること。 * 講義日ごとに日直当番を指定し、当番の者は講義開始時と終了時の号令を行う。 また、講義終了後の清掃(ホワイトボードの拭き取り、机上の拭き掃除等)を行うこととする。 * 受講生全員で机の並び替えなどの教室の準備を行う。
20 受講心得	<p>受講生にとって有意義な研修にするために、以下の項目を受講心得とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 通信課題に真摯に取り組み、定められた期限に提出すること。 * 講師の指示に従い、故意に授業の進行を妨げない事。 * 講義中の携帯電話、スマートフォン、パソコン等の使用(通話・メール・教室内での充電)は一切禁止する。 * 華美、露出の多い服装、香水、派手な化粧(ネイルアート)は控える。身だしなみを整え、介護を学ぶのにふさわしい服装で研修に臨むこと。 * いかなる場合でも、人に迷惑を掛けない事を最低限のモラルとする。 * 通学授業内容の録音、録画は認めない。 * 教室内での勧誘行為、経済的行為は一切禁止する。 * 通学授業時の貴重品の管理は個人の責任において行うこと。
21 通学授業時の 欠席・遅刻・早退について	<ul style="list-style-type: none"> * 欠席・遅刻・早退の場合は、必ず会場事務局へ連絡を入れること。 事務局連絡先: 下記【運営体制】事務局 連絡先参照
22 退講処分	<p>下記に該当した受講生は受講中止とし、改善が見られない場合は退講を言い渡す場合がある。</p> <p>① 遅刻・早退を繰り返したり、無断欠席等は指導の対象とする。 「指導」→「警告」→「勧告」の3段階の流れに沿って指導を行い、それでも改善が見受けられないとき</p> <p>② 施設の秩序や研修受講環境を著しく乱したとき、又は乱す恐れがあるとき</p> <p>③ 故意に施設の設定、物品を紛失、破損、又は施設外に持ち出そうとしたとき</p> <p>④ 法令違反等公序良俗に違反し、社会通念上、研修受講者として相応しくないと判断されたとき</p>
23 学習の評価及び課程修了の認定	<p>【通信課題】</p> <p>合格点は100点満点中、70点とし、70点に満たない場合は再学習を指導し、再提出とする。再提出は2回までとし、合格点に満たなかった場合は、未修了扱いとする。</p> <p>【通学授業】(介護過程Ⅲ)</p> <p>科目時間数の7割以上の出席が認められる者に対し、科目の修了日に評価を行い、100点満点中70点以上を合格とする。 不合格者は、当日中に1時間の補修、再評価を受ける。ただし、それでも合格出来なかった場合は未修了扱いとする。</p> <p>【通学授業】(医療的ケア演習)</p> <p>各行為に対して5回評価を行い、5回目以降を成功する事で合格とする。ただし、各行為最大10回まで実施し、1行為でも不成功の場合は未修了とする。また、評価が合格できて、7割以上の出席が認められないものは未修了となる。</p> <p>※《科目履修について》</p> <p>下記に該当する者が、次開催等で科目単位の再履修する場合は無料となる。無料の期限は、もともと入所した学級の修了日から1年以内の受講まで有効とする。但し、無料の再履修は1回までとし、再々履修時は有料となる。また、科目履修であってもその学級の修了日を待たなければ修了証は発行できない。</p> <p>① 通学授業において科目時間数の7割以上の出席が無い者</p> <p>② 規定の評価回数を超えても合格できず、未修了扱いとなった者</p> <p>③ 再提出を含め、自宅学習課題が修了式までに提出、合格できない者</p> <ul style="list-style-type: none"> * 修了評価、通信課題提出状況、受講態度、習熟度等を総合的に判断し、修了認定を行い、別添の修了証を交付する。 * 研修の全課程を修業できなかった者のうち、履修認定された科目について、希望者には「一部科目修了証明書」を交付する。
24 退講手続き	<ul style="list-style-type: none"> * やむを得ない事情等で学習継続が不可能になった場合、下記手続を経て、退講とする。 <ol style="list-style-type: none"> 1 退校届を提出する 2 弊社「返金規定」に基づき、返金を行う。 (金額については、その「返金規定」に準じ、コースや退講時間により返金が生じない場合もある。また、科目履修者については返金は行わない。)
25 講義の中止について	<p>天候不順の場合、安全面を考慮し、講義を中止することがある。</p>
26 個人情報の取扱	<ul style="list-style-type: none"> * 受講生の個人情報は、研修運営に関してのみ利用し、それ以外での目的では一切使用しない。 * 受講生の同意を得ていない個人情報については、第三者に開示することは一切しない。ただし、実習先へは、実習に最低限必要な情報を提供するものとし、受講生は同意するものとする。

2.運営体制(事務局)

管轄 住所 TEL・FAX 担当者 メールアドレス	【株式会社リビングプラットフォーム】 神奈川県相模原市中央区共和4丁目13-1 TEL:042-704-9305 FAX:042-704-9306 杉山 幸世 sachiyo.sugiyama@living-platform.com
---------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3.担当講師

添削担当講師	別紙担当講師一覧参照
通学(スクリング授業)担当講師	別紙担当講師一覧参照

4.休業日

休業日について	当社カレンダーに準じる (年末年始、ゴールデンウィーク、夏季休業等)
---------	---------------------------------------